土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　福川河川改修事業に伴う検討業務委託（2工区）

事業または工事名

調査目的及び調査対象　河川 その他

ボーリング名	No.12	調査位置	広島県福山市神島町			北緯	34° 29′ 01.1700″
発注機関	広島県　東部建設事務所	調査期間	2021年07月05日～2021年07月06日			東経	133° 20′ 26.8100″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 7.47m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総削孔長	14.00m								

試錐機	東邦　D1-C		
エンジン	ヤンマー　TF120M	ポンプ	東邦　DG-3CR

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	6.37	1.10		盛土（シルト混じり砂）		暗灰			細砂主体。部分的に粘土、φ10mm程度の亜角礫含む。	
2 3	3.97	3.50		盛土（砂混じりシルト）		暗褐～暗灰			含水低、粘性中位のシルト主体。中～細砂を混入する。 GL-2.70m付近、ビニールを混入する。 GL-1.95～2.15m、2.25～2.40m間、細粒分が卓越する。 GL-3.00～3.20m間、植物根含む。 GL-3.30m付近、白色を呈す薬材である。	
4	2.62	4.85		盛土（シルト混じり砂）		黄褐			粗砂主体。GL-4.00～4.10m間、細粒分多い。 GL-4.10m付近、φ50mmの礫含む。 GL-4.65m付近、φ40mmの亜円礫含む。	
5	2.37	5.10		シルト質砂		黄褐～暗褐			細砂主体。GL-5.00m付近、φ30mm程度の亜円礫含む。	
	1.67	5.80		砂混じりシルト		暗灰			含水低、粘性大のシルト主体。GL-5.40～5.50m間、粗砂を挟む。	
6 7	0.17	7.30		シルト混じり砂		暗灰～淡青灰			粗砂主体。GL-6.00m付近、細粒分卓越する。 GL-6.17m付近、シルトの薄層を挟む。 GL-7.10～7.30m間、細砂主体となる。	
8	-0.68	8.15		砂混じりシルト		暗灰			含水低、粘性大のシルト主体。GL-7.80～8.15m間、粗～中砂を混入する。 GL-7.30～7.80m間、細砂を混入する。 7.35～7.50m間、砂分少なくなる。	
9 10 11 12	-4.53	12.00		礫混じり砂		黄褐			粗砂主体。φ10mm以下の亜角～亜円礫混入。全体に改良されており、硬質である。 GL-8.70～8.95m、9.00～9.20m、9.60～9.70m間、緑色を呈す薬材である。 GL-9.00m、9.20m、GL-9.55m付近、GL-9.75～10.00m間は白色を呈す薬材である。	
13 14	-6.53	14.00		風化花崗岩		青灰			指圧により土砂化する。GL-12.00～12.10m間は、淡褐色を呈す。 GL-12.30m、13.68m付近、白色を呈す薬材である。	

標準貫入試験

深度－N値図 (0 10 20 30 40 50 60)	N値	深度(m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 現場透水試験	削孔月日
10.00	Tr12-1	TP	土粒子 含水比 粒度 沈降 湿潤密 UU	10.00 k=9.90E-7m/s 11.00	7/5
11.00 11.00	Tr12-2	TP	土粒子 含水比 粒度 沈降 湿潤密 UU	11.00 k=2.50E-7m/s 12.00	7/6
12.00					